

地域の特産品モロヘイヤを商品化 (上郡町)

活用資源	農産物、特産品、自然
取組主体	鞍居地区ふるさと村づくり協議会

概要

- ・上郡町鞍居地区は、豊かな自然や田園風景が広がる地域ですが、小学校・幼稚園が閉校・閉園となり、診療所やJA支所も閉鎖され、少子高齢化・過疎化が進む地域でした。そんな時、中断していた金出地ダムの建設が再開されることになりました。住民はこれをチャンスと捉え、ふるさと再起をかけて「鞍居地区ふるさと村づくり協議会」を設立し、ふるさとの美しい自然や風景を子や孫に引き継ぐため、以下の活動に取り組んでいます。

①地域の特産品モロヘイヤの加工・販売

高齢化で生産者が減少していた町の特産品モロヘイヤの復活に取り組みました。無農薬栽培・葉っぱのみの手摘みにこだわった粉末加工品として商品化し、地域での販売に加え、アンテナショップ・通信販売もしています。

②「鞍居桃」の加工・販売

鞍居地区に自生する「鞍居桃」を5年前から地元の上郡高校生と協働し、実から育てた苗木を植樹、コンポートやジャムに加工し、地域で販売しています。

③金出地ダム自然植物公園構想事業

ダムに沈む希少植物を下流域で保護・育成し、ダム完成後上流の谷あいに戻して自然植物公園を整備しています。クライモモ・コヤスノキなど10種類1,330本を植樹しています。

④鞍居川生き物復活大作戦

ダム建設でなくなった鞍居川流域の魚・昆虫・水辺の植物を守るため、子供達と一緒に作ったビオトープは、水遊びや環境学習の場となっています。

ポイント

- ・活動を継続するためには資金を稼ぐ必要があることから、地域の特産品を活用して商品化を行い、販売することになりました。今では通信販売も行っているほか、ふるさと納税の返礼品となるなど好評を得ており、活動資金の確保だけでなく、地域を知ってもらうきっかけにもなっています。

ココが
コツ!

- ・地元の上郡高校生との協働開発や住民ボランティアによる収穫・加工などにより、自分達が生まれ育った故郷の誇りや地域コミュニティの場となっています。
- ・鞍居地区にしかない鞍居桃の商品化にあたり、増殖が必要だったため、地元の上郡高校生と協働し、剪定・摘花作業の実施や栽培・繁殖方法の工夫を行い、実を大きくすることに成功しました。また、鞍居桃が持つ独特の苦味を活かして他との差別化を図るために試作を重ね、香りや甘味に加え、食べた後に若干感じる苦味を特徴とした商品化に成功し、完売するまでになりました。



住民ボランティアによるモロヘイヤ加工作業

この事例をもっと知りたい場合

鞍居地区ふるさと村づくり協議会



TEL 0791-54-0017
(月・水・金 9~17時)

HP <http://www.kuraimura.com/>